

平成 21 年 4 月 6 日
朝日生命保険相互会社

当社の資本政策について

当社は、昨年秋以降の金融経済環境の急変を受けて、平成 20 年 12 月末に、350 億円の基金の再募集（増額）を実施しております。これは、更なる環境悪化に備えた予防的対策として、資本の増強を図るものです。

一部報道にありました、「資本の再構築（報道では再調達）」（※）は当初、平成 21 年 8 月を目処に実施することを予定しておりました。しかしながら、昨今の経済環境下では資本を厚くすることを優先すべきと判断し昨年 12 月に基金を 350 億円増額済であること、また当面は不透明な金融経済環境の継続が予想されること等を踏まえ、「資本の再構築」は平成 21 年 8 月に時期を限らず、平成 24 年 3 月までの間において、金融経済環境が安定したと判断した時点で実施することといたします。

（※）「資本の再構築」とは、残存期間の短い基金を一旦償却（返済）し、償却額と同額を目処に、新たに期間の長い基金あるいは劣後ローンを調達し、残存期間の長期化による「資本の質の向上」や「財務政策面での柔軟性確保」を図るものです。

なお、「基金償却積立金の取崩し」につきましては、今後の基金償却や「資本の再構築」にあらかじめ備えることを目的とするものであり、平成 20 年度の総代会において決議された後、所定の法的手続きを完了したことから、本年 3 月 31 日付で実施いたしました。この取崩しは、貸借対照表の「純資産の部」内での異動であり、取崩しによる純資産額や健全性指標への影響はありません。

以 上